

全国学校ギター合奏コンクール2024 審査講評

A-9番 団体名 埼玉県立川越高等学校古典ギター部

課題曲 曲名：動物たちのプレリュード 6. カンガルー・ボクサー／竹内淳く指揮：横市智く

自由曲 曲名：交響曲第9番作品95「新世界より」第4楽章／A. ドヴォルザーク(荒井聡美編)
く指揮：小川創矢く

審査員名	課題曲	自由曲
新堀	マナー○技術○指揮△ Gr.×2は不足(しかも一人は表面板を席に向けていない)。 4人必要な曲。タテリズムの曲なのにそれがない。 指揮、左手の甲を90度右にしっぱなしは表現にムリが走る。	マナー○技術△指揮△ 指揮棒の先端をきちんとメンバーに向けてください。 低音不足。平坦。奏者、石の様。指揮を見てない。
竹内	リズムの明確さと拍子感は大変良い。 アクセントもよく出ていました。秀逸でした。	原曲の雰囲気損なわない優れたアレンジをよく弾きこなしていると思います。和弦が重くなりすぎず、どのようにイメージして溶け込ませていか、よく考えられていました。 テンポの切り替えもよい。
猿谷	pになっても固い音(発音の良い音)はどうやって出すか考えましょう。	cresc.の前に一度pに落とすのは譜面には無いけど良い。 トレモロは音を延ばしたいという理由も一つにあると思うけど、ならばどこまで延ばすのか統一すべき。
堀	強弱がしっかりついて良い。タテ線をもっと意識的に合わせればグルーブ感が出てくる。(内声の動きも相乗して)全体的にツツコミ気味になってしまった。 2拍3連の意味合いを考えれば、moderatoにもっと落ち着いた世界を作れる。	この大曲を演奏しきるには、音の立ち上がり、音価、切れ方といったところから各セクションのディテール、フレーズ同士の関連性、そのほか、あらゆる点に綿密な分析と深い理解が必要です。ドヴォルザークの楽曲は比較的撥弦楽器のサウンドにマッチすると、個人的には思いますが、「この曲は撥弦楽器アンサンブルでやるからいい！」とならないと取り上げても人に感銘を与えるのは難しい。
柴田	アナリーゼ○ 理性のきいた考えられた演奏だ。	確かによく頑張っているが、音域の壁を強く感じる編曲だった。
中島	マナー○アナリーゼ○技術○指揮○ 快適なスピード感が良い。 三連符◎よし！ アルトギターが軽やか。	マナー○技術○指揮◎ 編曲の問題かパート編成の問題か、低音が主旋律をとる時はもっと厚みがあったほうが良い。→最後は良かった！

【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール2024 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早1-16-14

Tel.03-3530-5341